



～複式のよさを生かした 言語活動を通した単元づくり～

「提案授業」 小学校第2・3年複式 単元名:デンマーク料理を知らせよう～レストラン「陶美庵」探偵団～  
 教材名:「外国の小学校について聞こう」(東京書籍2年上) 「メモを取りながら聞こう」(東京書籍3年上)

今年度から県下4校(久重小学校・伊尾木小学校・北原小学校・利岡小学校)において、新しく「複式」も加わり授業づくり講座が開催されます。高知市では、久重小学校が拠点校となり、複式のよさを生かした国語科授業づくりを目指して、4回の提案を行います。講座は、「教材研究会」と「授業研究会」がセットになっており、一つの教材を通して、「教材研究の仕方」から「授業づくりのプロセス」、実際の「授業の指導の工夫」等を、提案者と参加者が一緒になって学び合うことができる仕組みになっています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1セット目を校内研究として取り組むことになりました。久重小学校で行った「教材研究会」の様子を紹介します。

≪授業者の考えを基にした単元構想図≫

2年生 3年生

(1次)

学習支援員さんからの依頼

「地域にあるデンマークレストラン陶美庵について、もっとみんなに知ってもらいたいな。」  
 デンマーク料理や陶美庵について話を聞いて、クイズを作って1年生と4年生に紹介しよう。

・話の内容を捉える  
 ・感想をもつ

・話の中心を捉える  
 ・メモを取る

(2次)

分かる 教科書「イタリアの小学校の生活」について、話を聞こう。

3年生  
 みたい  
 メモを取って  
 みたいな。

日本と同じところや違うところはどんなところかな。

どんなメモがいいかな。 2年生のお手本になろう。

試す 自作教材「ハワイ料理」について、話を聞こう。

初めて知ったことはどんなことかな。

メモはいくつのまとまりになるかな。

できる 自作教材「デンマーク料理」について、話を聞こう。(本時)

どんなクイズができるかな。

クイズを作るためにどんなメモがいいかな。

〇×クイズ

一問一答クイズ

クイズ大会の練習をしよう。

(3次)

クイズを出す時には、どんなことに気を付けたらいいかな。

クイズ大会  
 デンマーク料理や陶美庵について紹介しよう。

1年生や4年生にデンマーク料理や「陶美庵」のことを知ってもらえたかな。

～複式のよさを生かす～

異学年で学び合える

同じ教室で異学年の子どもたちが共に学習や生活をする中で、上学年は、下学年の手本になろうと意欲が高まり、下学年は、上学年を憧れの存在や身近で具体的な目標として見る。  
 また、上学年は、下学年の学習を見て、前年度の学習を振り返り、下学年は、上学年の姿を見て、次の学年でどんな学習を行うのかを知ることができる。

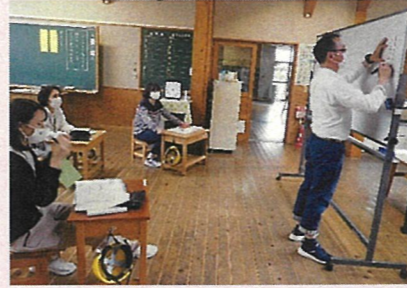
児童が表現する場が多い

複式の授業では、少人数であるが故に、話し合い活動において、必然的に全員が自分の考えを表現する機会が増える。間接指導の時間の活動は、自分たちで話し合いを進める機会が多く、より児童が主体的に学ぶことができると考える。

今回の単元では

この単元では、クイズ作りの素材となる話を聞いたり、クイズ大会の練習をしたりする場面で、それぞれの学年が互いに関わり合いながら学べるようにした。クイズ作りに必要な情報を得たり、クイズをお互いに聞き合ったりすることで、意欲を高め主体的に学べるようになると思う。

授業提案  
 模擬授業



≪単元づくりのポイント≫

- 1 この単元で育てたい「資質・能力」の明確化
- 2 6年間の「系統」確認
- 3 学習指導要領の「学習過程」や「指導事項」を基にした単元の構成の仕方

≪模擬授業の提案≫

- 1 言語活動を通した単元づくりになっているか?
- 2 クイズ作りで子どもたちが思考する授業になっているか?
- 3 3年生の間接指導の時、自分たちで学び合えるか?

グループ  
 協議



≪課題(授業改善点)の焦点化≫

- 1 話を聞いて、大体的内容を捉えていたが、同じようなクイズになってしまうので、内容を検討する必要があるのではないか。
- 2 メモとクイズ作りでズレがあるのではないか。メモを生かしてどんなクイズができるかという方がよいのではないか。
- 3 メモの何に着目させて話し合うのかを明確にする必要があるのではないか。

全体共有



≪授業に向けて≫

- 1 クイズにする情報を再検討し、どのようなクイズを作ればよいのかを明確にしておく。
- 2 単元の振り返りを2・3年生合同で行う。下学年は、上学年のようになりたいと思う、上学年は、学んだことの自覚化ができる。

授業者の振り返り

今年度から、2・3年生が複式となりました。今回の校内研修で、先生方と模擬授業を行ったことで、複式の授業について考えていただくきっかけになったと思います。  
 私自身も、ご意見をいただき、話し合い活動では、間接指導となるので、話し合いの内容をより明確にする必要があったことや、話の量や内容について、確認することができました。今回の話し合いを受けて、さらに改善して授業を実践したいと思います。

久重小の先生方より

・クイズを出して紹介するという言語活動を設定することで、子どもたちは、話を聞いたりメモを取ったりする学習に目的をもって取り組めると思う。  
 ・イタリアの小学校の生活→ハワイ料理→デンマーク料理という単元構成を工夫することで、学び方のイメージがつかみやすく、資質・能力が少しずつ育っていくと思う。  
 ・本時の話の内容は、5項目のことがあり、まとまりを捉えやすいと思うが、それぞれのメモを提示して話し合う時は、メモのポイントを明確にして話し合う必要がある。